

## ミシガン州ノヴァイ市出張報告② ～ノヴァイ市警のパトカーについて～

ニューヨーク事務所

2013 年 5 月 20 日から同月 23 日までの間、ミシガン州にあるノヴァイ市での自治体訪問研修に参加しました。

研修期間中、老人ホームから公民館に至るまで数多くの施設を見学させて頂きましたが、ノヴァイ市警を訪問した際、わずかな時間ではあったものの、同市を巡回するパトカーに乗車する機会を得ました。

今回は、パトカーの設備及び職務質問の手法について、日本との相違点を踏まえながら報告します。

### 1 パトカーの設備

日本のパトカーと言えば、基本的にはどこの都道府県でもいわゆる代表的な白黒スタイルの外観で統一されていますが、アメリカではノヴァイ市警に限らず、自治体ごとによってパトカーの外観が異なります。各自治体が、自分の市 (City) の顔としてパトカーの外観を活用しているのです。



ノヴァイ市警のパトカー

車内の装備品については、概ね日本のパトカーと比べて差はありませんが、大きく異なるものとして、①運転席と助手席の間に携帯用 PC が備え付けられて

いること、②被疑者が座る可能性のある後部座席のシートが、プラスチック様のもので出来ており隙間が存在しないこと、の 2 点が挙げられます。



非常に使い勝手の良い携帯用 PC

パトカーに乗務している警察官は、この携帯用 PC を通じて、瞬時に対象者の個人情報の照会及び受信ができる (運転免許証の顔写真さえも受信可能) ほか、他のパトカー乗務員とチャット機能を使って連絡を取り合うこともできます。日本だと、個人情報保護の観点から、パトカー内に同様の PC を設置することは難しいのですが、現場の警察官にとっては非常に有用です。

また、後部座席については、被疑者に凶器や薬物などを座席の隙間に隠匿されることを防ぐ観点から導入しているそうですが、この点は NY のマンハッタンを走る地下鉄が、テロ対策上ほぼ同様の座席を採用していることに通じています。

## 2 職務質問

パトカーに乗車させてもらった際、偶然にも被疑者検挙の場面に立ち会うことができました。

警察官が前方を走行していた車両を前述の携帯用 PC にて照会したところ、交通違反者の使用車両として登録されていたことから、直ちに車両を停止させて職務質問を開始しました。車内には運転席に 20 代前半の女性が一人いただけでしたが、携帯用 PC にてその女性の犯罪歴などを照会した結果、運転免許停止処分期間中であることが判明しました。



後部座席の様子

ここまでは、日本の職務質問の流れと比較しても大きな違いはありません。私が一番違いを感じたのは、この後の警察官の対応です。警察官は、無免許運転で女性を検挙するべく、PC のチャット機能を利用して応援のパトカーを要請したのですが、応援のパトカーを待っている間、女性から運転免許証を預かりはしていたものの、特に女性の車両の近くで監視することなく自分のパトカーに乗車したままでした。日本では、職務質問中に被疑者の動静を監視するのは基本中の基本であり、特に今回のように、被疑者を車両に乗せたままで後方に停車しているパトカーから監視するというのは、被疑者の逃走防止という観点からも通常は行いません。

私が、「女性を監視していなくて大丈夫なのか？逃げられてしまうのでは？」と質問したところ、警察官は「既に女性の免許証を預かっているし、ここで逃走すれば彼女はさらに重い別の罪に問われることになるので、逃げるわけがない」と、自信たっぷりに答えていました。

日本では、未だ犯罪が明らかになっていない職務質問の段階において、警察官の指示を振り切って逃走する行為自体を罪に問うことはできません。こうした法体系の違いも、日米間の警察活動の違いにおける要因の一つになっているのでしょう。

## 3 所感

短い時間ではあったものの、ノヴァイ市警のパトカーに乗車し、職務質問及び検挙の現場を体験できたのは、同じ警察官である私にとって大変有意義でした。

前述のとおり、パトカー内の設備や職務質問の方法など、いくつかの点において日本と異なるものもありましたが、市内を巡回するパトカーの姿を見せることで市民に安心感を与えらるという基本姿勢については、日本と変わるところはありません。また、ノヴァイ市警の警察官が、そうした仕事に誇りと使命感を持って日々職務に励んでいることについても、同じ警察官として非常に共感を覚えました。

紹介したパトカー以外にも、ノヴァイ市警が保有する設備や装備品を数多く見せて頂きましたが、どれも素晴らしいものばかりで、日本での導入を勧めたいものもいくつかありました。今回の訪問を通じて、改めて、「市民の安全安心を守る」という警察の存在意義がどの国でも同じであることを認識した次第です。

(CLAIR メールマガジン 2013 年 8 月配信)



ノヴァイ市警の交通取締りは、白バイではなく「黒バイ」によって行われている

最後に、本研修においては、同市の City Manager である Clay Pearson 氏をはじめ、Chief of Police の David E. Molloy 氏など多くの関係者の方々から大変興味深い話を聞かせて頂きました。

これまで自治体行政に深く携わったことのない私にとって、自己の視野を広げるという意味でも貴重な経験となりました。

お世話になったノヴァイ市の関係者各位に対し、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。

(松重所長補佐 警視庁派遣)

